

商公政 第222号
平成13年11月13日

大阪府知事 太田 房江 様
大阪府教育委員会
教育長 竹内 脩 様

高槻市長 奥本 務 高槻市長公印

高槻市における府立高等学校の再編に当たっての要望書

晩秋の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、貴職におかれましては、府立高等学校再編整備計画を策定され、その第1期実施3年次計画案として、本市に所在する府立島上高等学校と府立高槻南高等学校を統合し、新たに「全日制単位制高等学校」を設置する計画を公表されました。

少子化が進行する今日の社会情勢から、高等学校の再編整備については、一定理解するところですが、計画案を策定され、公表するまでの間に地元市に対して、一度の事前協議もなかったことにつきましては、誠に残念で極めて遺憾に存ずる次第であります。

地域における公共施設の存在は、まちづくりの観点から、極めて重要なものであることは言を待たないところであります。

特に、府立島上高等学校の地は、古来高槻城（本丸）跡地で歴史的にも重要な地域であり、本市の将来のまちづくりにとって、誠に重要な資源であります。

そのようなことから、本市といたしましては、当該高等学校の周辺地域を都市公園「城址公園」として整備し、広く市民の利用に供すなど、中心市街地に存在する貴重な憩い空間として位置付けております。

以上のことをご賢察いただき、**府立島上高等学校と高槻南高等学校の統合を進められるに当たっては、本市との十分な協議をされることを強く要望する次第でございます。**

高槻南高等学校の廃校決定に当たっての高槻市談話 安場助役

今回の府教育委員会が進める府立高等学校の再編整備については、少子化が進行する中、一定理解するところであるが、この度、本市が府教委に要望した内容は、街づくりにおける高槻市の百年の大計とも言うべき提案です。

それを府教委は歯牙にもかけず、十分な協議もなく、既定方針通り実行することは誠に残念であります。

府教委は高槻市民のことなんか何も考えていないと、いわざるを得ない。何らかの対応検討したい。（2001年11月16日）

（以上の「高槻市要望書」と「安場助役談話」は正式文書を元に打ち直したもの）